

WTO加盟と資本財市場の誕生

—ロシアとベトナムの事例—

<ロシアとベトナムへの直接投資と資本財市場の誕生研究会>

水野順子 編

2008年3月

独立行政法人 日本貿易振興機構
アジア経済研究所

調査研究報告書

[新領域研究センター]2007-IV-37

[ロシアとベトナムへの直接投資と資本財市場の誕生]

WTO加盟と資本財市場の誕生

—ロシアとベトナムの事例—

〈ロシアとベトナムへの直接投資と資本財市場の誕生研究会〉

水野順子 編

2008年3月

独立行政法人 日本貿易振興機構

アジア経済研究所

はしがき

この報告書は、新領域研究センターにおける「ロシアとベトナムへの直接投資と資本財市場の誕生」研究会（平成19年度から平成20年度）の初年度の成果である。

平成19年度は、情報の少ないロシアを重点的に調査した。調査は、関連文献調査、国内におけるヒアリングと現地調査という方法で実施した。

ヒアリングに講師としてご協力下さった森和男氏（栃木県産業技術センター所長）、リアボフ オレグ 氏（Dr. Oleg Ryabov）（産業総合研究所主任研究員）、菅原信夫氏（（有）菅原アソシエーツ代表取締役）には、ここに記して深く感謝の意を表する。

また、現地調査では多くの方々にご協力頂いたことを改めて感謝するものである。

研究会は、

主査 水野 順子（独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所新領域研究センター長）

幹事 石田 暁恵（独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所新領域研究センター非常勤嘱託員）

委員 伊東 誼（東京工業大学名誉教授、神奈川工科大学客員教授）

委員 八賀 聰一（社団法人 日本工作機械工業会事務局長）

委員 八幡 成美（法政大学キャリアデザイン学部教授）

委員 清水 伸二（上智大学理工学部機械工学科教授）

委員 坂口 泉（社団法人 ロシアN I S 貿易会ロシアN I S 経済研究所次長）

で構成された。

2008年3月10日

編者

目次

はしがき

序章…1

はじめに

1. 資本財とは、
2. 伝播した技術のネットワークを分析する
3. 本書の構成

第1部 ロシア

第1章. ロシアの高度経済成長要因…9

はじめに…10

1. 1. 経済成長を説明する要因…11
1. 2. 国内市場の形成…15
1. 3. 外国直接投資…17
1. 4. 直接的産業政策…18
1. 5. 成熟した内需…19

第2章. 工作機械を需要する資本財…21

2. 1. 自動車分野（乗用車部門）…22

2. 1. 1. 生産動向

2. 1. 2. 販売動向

2. 1. 3. 純国産メーカーの現状と今後の展望

2. 1. 3. 1. AvtoVAZ（ヴォルガ自動車工場）

2. 1. 3. 2. ルースキエ・マシーヌィ社（GAZ）

2. 1. 3. 3. セヴェルスターリ・アフト

2. 1. 4. 主要な外国車現地生産計画の概要と現状

- 2.1.4.1. フォード
- 2.1.4.2. アフトフラモス (ルノー)
- 2.1.4.3. GM-AvtoVAZ
- 2.1.4.4. トヨタ
- 2.1.4.5. 日産
- 2.1.4.6. スズキ
- 2.1.4.7. VW
- 2.1.4.8. GM
- 2.1.5. 外資系部品メーカーの動き
- 2.2. 鉄道車両製造分野…34
 - 2.2.1. 生産の推移
 - 2.2.2. 鉄道輸送会社の鉄道車両保有状況
 - 2.2.3. ロシアの主要鉄道車両工場
 - 2.2.3.1. 機関車製造工場
 - 2.2.3.2. 客車・貨車製造工場
- 2.3. 民間航空機…39
 - 2.3.1. 生産および需要の状況
 - 2.3.2. 主要な民間機製造工場
 - 2.3.2.1. カザン航空機製造工場 (タタルスタン共和国)
 - 2.3.2.2. アビアスター社 (ウリヤノフスク州)
 - 2.3.2.3. ヴォロネジ飛行機製造株式会社
 - 2.3.2.4. 民間航空機スホイ社
- 2.4. 重電機器…42
 - 2.4.1. 重電機器市場の概況
 - 2.4.2. ロシアの主要重電メーカー
 - 2.4.2.1. シラヴィエ・マシーヌイ (パワーマシン)
 - 2.4.2.2. EMアリアンス
 - 2.4.2.3. ウラルタービン工場

2.4.2.4. サターン	
2.5. 建設機械、農業機械…46	
2.5.1. ロシアの建設機械部門の概況	
2.5.2. 農業機械分野の概況	
2.6. 造船…49	
2.6.1. 主要な造船所	
2.6.2. 艦船の建造状況	
2.6.3. タンカーの建造状況	
2.6.4. 国が打ち出した危機打開策	
第3章 ロシア工作機械の人材問題…53	
3.1. 拡大する労働力需要の産業間格差…54	
3.2. 熟練労働力の供給状況の仕組み…56	
3.3. 進行する高学歴化…59	
3.3.1. カラリョフ航空機製作・技術カレッジ	
3.3.2. サンクトペテルブルク技術カレッジ	
3.3.3. 航空技術アカデミー	
3.3.4. スタンキン工科大学 (STANKIN)	
3.4. R&D 分野の人材…71	
3.5. 工作機械・工具製造分野での人材問題…73	
まとめ…76	
付図表…80～88	
第4章 ロシア工作機械産業の現状…89	
4.1. ロシア工作機械産業の現状…90	
はじめに	
4.1.1. 生産の特徴	
4.1.2. 輸出と輸入	

- 4. 1. 3. 製品の競争力の問題
- 4. 1. 4. まとめ
- 4. 2. 現地調査の結果から…97
 - 4. 2. 1. ロシア工作機械工業会
 - 4. 2. 1. 1. 各種ロビー活動
 - 4. 2. 1. 2. 基礎データ作成活動
 - 4. 2. 1. 3. 博覧会・展示会の主催と参加
 - 4. 2. 1. 4. 外国企業との協力の可能性について
 - 4. 2. 2. ロシアの工作機械企業
 - 4. 2. 2. 1. クラスニィ・プロレターリ
 - 4. 2. 2. 2. モスクワ・ジグ中ぐり盤工場
- 4. 3. 技術の系譜…104
 - 4. 3. 1. 諸外国からの技術伝播の時系列的表示
 - 4. 3. 2. 1960年代に国産されていた機種
 - 4. 3. 3. 2000年代初頭での技術レベルの推測
- 4. 4. 技術の現状…115
 - 4. 4. 1. 研究開発の状況
 - 4. 4. 2. エニムスの事例
 - 4. 4. 3. EM02007 にみるロシア工作機械の技術レベル
 - 4. 4. 4. 工作機械技術に関する教育の現状
 - 4. 4. 5. 工作機械供給サイドの現地状況のまとめ

第2部 ベトナム

第5章 WTO加盟後のベトナム外国投資と産業へのインパクト …125

はじめに…125

5. 1.	新興市場としてのベトナム…	126
5. 2.	ベトナムへの外国直接投資にみられる変化…	127
5. 3.	製造業の生産、輸出への外国直接投資の影響…	132
5. 4.	外国投資とインフラ需要…	133
5. 5.	ベトナムへの資本財輸入…	134
	おわりに…	135
	結論…	137

